



エコドライブインタビュー

～ 組合員さん独自の取り組み教えてもらいました！ ～

昨年実施したエコドライブアンケートについて、組合員の皆さまご協力くださりまして誠にありがとうございました！
こちらのコーナーでは、アンケートにご回答いただいた一部の組合員さまに
取り組みの内容や効果的な方法などについてインタビューにお応えいただき、ご紹介させていただいております！

エコドライブの意識浸透には、コツコツ時間をかけることが大事！



▲ 株式会社ミツノリ運輸部 脇田様



株式会社ミツノリ

福井県福井市(福井県支部)

主な荷物 繊維、糸 保有台数 20台 エコドライブ実施期間 10年以上

“ 継続して取り組んでもらうことで、
当たり前になり、自ら取り組むようになる ”

Point 1

入社後すぐに、エコドライブの概念を教育！

Point 2

車両点検は一人ではなく、
かならずペアで！

▼ Let's Interview !

Q1

株式会社ミツノリ様がやっているエコドライブについて、具体的な内容をお聞かせいただけますか？

A1

エコドライブの意識浸透には、とても時間がかかります。そのため、弊社ではまず、入社した社員全員に、「環境・エコドライブ目標」「アイドリングストップ」「タイヤ空気圧」「ゴミ4R」等についての知識を教育することからはじめます。また、事故を起こした運転手には、運転手の特性ごとに問題点を分析し、添乗指導することで事故の削減にも努めています。



ごみを減らす4Rとは？

- ・Refuse(リフューズ) … 買わない
- ・Reduce(リデュース) … 減らす
- ・Reuse(リユース) … 繰り返し使う
- ・Recycle(リサイクル) … 再生利用

以前から取り組みが推奨されていた3Rに“ごみになるものは発生元から断つ”考え方として、Refuseが加わったものです。普段エコバックを活用している人はレジ袋を断るため、Refuseができていますね！

Q2

時間がかかるからこそ、入社後にすぐに取り掛かり、意識付けから始めるのですね！また、添乗指導などは実際に運転している際のイメージがしやすく、とても事故防止に繋がります！

A2

はい、エコドライブを行うことや添乗指導によってかならず事故防止にはつながっていると思います。しかし、なによりも大切なのは運転手ひとりひとりの意識の向上なのです。入社後の教育以外にも常に意識を持ってもらうために自主点検は必ずドライバー同士がペアで点検するようお願いしたり、みんながよく見る食堂の掲示板に「燃費達成度表」を掲示し、運転を振り返ってもらったりと、一人で行っているのではなく、みんなでやっていることだと思ってもらえるように工夫をしています。今では、毎年燃費向上を追求しているドライバーもあり、エコドライブや事故防止に対して意識してくれているんだなと感じられるようになってきました。

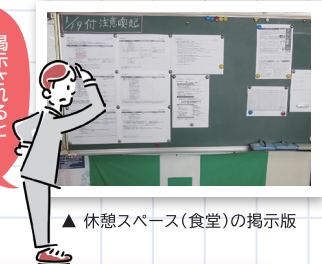
Q3

みんなが見る場所に掲示することや、ペアでの点検だと、周りもやっているから自分も行わない！という意識が芽生えそうですね。コツコツ行ったことが成果として感じられることはとても嬉しいですね。

A3

そうですね。始めたばかりの時は不満の声や面倒くさがる様子もありました。それでも継続してもらえるよう伝え続けたことで、今では指示しなくてもドライバー同士で当たり前に行われるようになりました。何か特別な取り組みを行わなくても、コツコツ時間をかけて取り組むことで意識が浸透し、エコドライブや事故防止に繋がっていきますので、これからも継続して取り組みたいと思います。

掲げられると、振り返りになり、もう一度頑張りたいと思うんですね。



▲ 休憩スペース(食堂)の掲示板

Special Thanks /



当たり前になると忘れてしまいがちですが、日々同じことをコツコツと続けていくことは、本当に大変です。管理者の方や脇田様をはじめとする安全担当者が本気で取り組む姿や言葉がだんだんと浸透し、「言われて行う」から「当たり前に行う」へと意識が変わっていったのだと思います。株式会社ミツノリの脇田様、そして関係者の皆さまお忙しい中ご協力いただきありがとうございました！